

利 用 者 の た め に

1 調査の目的

農業構造動態調査地域就業等構造調査は、地域の農業における効率的な農業生産の確保に資するため、公的主体の地域農業経営への関与状況（市町村、農協等が参画した第3セクター、農業生産法人、農地合理化法人等）や集落を基礎とした農業者の組織の実態、認定農業者の営農実態及び今後の意向、委託を受けて農作業を行う組織等の活動状況等を把握し、地域農業の多様な担い手の動向等を明らかにすることにより、農地の流動化、地域資源の活用等個別政策課題に対応した統計を提供することを目的とする。

平成12年度においては、集落営農の営農形態等を把握することにより、地域農業の多様な担い手の一つとしての集落営農の位置付けを明確にし、集落営農の推進を図るための各種施策の基礎資料に資することを目的として調査を実施した。

2 調査の機構

調査は、農林水産省大臣官房統計情報部及び地方統計情報組織を通じて実施した。

3 調査の範囲と対象

- (1) 調査の範囲は、全国とした。
- (2) 調査の対象は、集落営農とした。

4 調査期日

平成12年11月1日

5 調査方法

(1) 標本の抽出

2000年世界農林業センサス結果等に基づき整備した集落営農を母集団として、集落営農内の農家数規模別に階層分けを行い、系統抽出した。

(2) 調査の実施

調査は、出張所職員による面接聞き取りの方法により行った。

(3) 推定

ア 階層別

階層別の推定については、合計値に階層別の推定係数を乗じて行った。

[推定式]

$$X_i = (N_i / n_i) \sum_{j=1}^{n_i} X_{ij}$$

<上記の計算式に用いた記号>

X_i i 階層の推定値

N_i i 階層の母集団の大きさ